



■外国人採用の現状学ぶ 外国人採用の現状や課題を学ぶ「外国人雇用に関するセミナー」(県労働者福祉協議会など主催)が、徳島市東沖洲1のアイデルであった。オンライン参加を含む91人が外国人雇用への理解を深めた。

数名採用し、20年間で100人以上の外国人技能実習生を受け入れてきた実績などを紹介。「人口減の時代に外国人採用は重要だ」と訴えた。

カナダ人やベトナム人など外国人40人以上が在籍する富士フアニチア(板野町)の布川徹会長は「写真」は「さまざま国籍の従業員が加わり、新しい発想や働き方につながっている」と効果を強調。「将来的には外国人が当社の幹部になることもあり得る。人種や国籍、性別に関わらず、頑張った人が報われる世の中になってほしい」と呼び掛けた。セミナーは2月24日に開かれた。

(中野愛子)